

千年千人プロジェクト

(令和7年度における京都基本構想の周知・浸透の仕組みづくり)

構想期間である25年にとどまらず、次の千年に向け、構想で示す3つの価値を、「語り部」ひとりひとりを起点に語り紡いでいくプロジェクト。

1 トーク&ワーク「-まちを肴に-」

構想で示す3つの価値への“気づき”の機会をつくるとともに、その気づきを“自分の言葉”で伝える場を設けるため、構想のキーワードカードを対話の肴に、京都市未来共創チーム会議委員と参加者のフリートーク及び京都市未来共創チーム会議委員のトークセッションを各回30名～40名程度で計3回開催。

2 京都のまちで、わたしたちはどう語りはじめよう？-京都基本構想 共創イベント-

基本構想が描く「こういうまちであり続けたい」と京都の理想を多くの人と共有し、その思いがひとりひとりの言葉を通じて、人から人へ伝え広がっていくことを目的に開催。

第1部では、構想の策定に関わった構想の起草者、京都市総合計画審議会委員、京都市未来共創チーム会議委員、京都市長が登壇し、構想策定までの道のりや構想に込められた思い等についてトークセッションを実施。

第2部では、千年千人プロジェクトの一環として実施中の下記3にちなみ、参加者にも短い日記を書いていただき、日記を通じて参加者同士の交流の場を設ける。

3 KYOTO 1000 DIARY

京都に関わるさまざまな立場・世代・職業の方々の日記を通して、市民が自身の経験や価値観を通じて構想で示す3つの価値を再解釈し、その多様な読み取りが可視化・蓄積されていくことを目的として、京都に関わる方々が日々の営みの中で京都を感じる瞬間や京都に住んで良かったという思いなどを日記として集め、公式インスタグラムで毎日配信（令和8年2月1日開始）。

令和7年度については、日記の執筆依頼は、原稿を150～1000字、写真を1～2枚程度（任意）で作成依頼。

4 特設サイトの開設

令和8年2月から開設し、構想本文を掲載するだけでなく、構想策定に至る背景や経緯、語り部のアーカイブ等、各取組を掲載。特設サイトは英語にも対応するほか、パソコン、タブレット端末及びスマートフォン等のマルチデバイスでの利用を考慮し、UI/UXや読込速度にも配慮して構築。

5 旅する基本構想

身近な方、大切な方へと届けていただくことで、温もりを感じながら連鎖的に新たなつながりを紡いでいき、構想で示す3つの価値に触れるきっかけづくりのため、文庫本サイズの紙の構想冊子に、マーカーや感想、イラストなど、手にした方々がそれぞれの解釈を書き込んでいき、冊子を人から人へ旅させる。